

設計時

1. レンズとセンサのタブを合わせて装着して下さい。
2. 焦点を合わせるため、レンズ内の段差がセンサ天面に接触するまでレンズを押し込んで下さい。
3. レンズの位置ずれ、脱落を防ぐための筐体を付加して使用して下さい。
4. 当レンズと焦電型赤外線センサは、中間嵌めとなる公差規定のもと組み付けられることとなります。御社製品へ実装された状態でレンズの位置ずれ脱落を防ぐため筐体設計を施していただきますようお願いいたします。
5. レンズの視野を遮らないように筐体を設計してご使用下さい。
6. 下記のような状態でご使用いただきますと、レンズ配光特性を満たさないことが予想されますので、十分ご確認の上ご使用下さい。
 - (a) 液体中（水、有機溶媒等）や腐蝕性ガス（亜硫酸ガス、窒素酸化ガス等）および、潮風中での使用
 - (b) 高湿下での連続使用
 - (c) 太陽光の直射を受ける場所での使用
 - (d) 温風ヒーター、エアコン等の送風を直接受ける場所での使用
 - (e) 当レンズの検知エリア内に赤外線を透さない障害物（ガラスや壁等）がある場所での使用
 - (f) その他、上記(a)～(e)項に準じる場所での使用

保管および使用時

1. レンズ表面を汚したり、傷をつけないで下さい。光学特性に著しい劣化が生じ、レンズ配光特性を満足しなくなることがあります。
2. 大きな圧力や強い衝撃を与えないで下さい。変形や割れ等が発生し、レンズ配光特性を満足しなくなることがあります。
3. 高温、多湿、塵埃の多い場所、液体中（水、有機溶媒等）、腐蝕性ガス（亜硫酸ガス、窒素酸化物ガス等）および、潮風の存在する場所で保管しないで下さい。劣化原因になります。